

2013年3月14日

報道関係者各位

No.61112

株式会社東陽テクニカ

QA・C が MISRA C:2012 をサポート

MISRA C の最新バージョンの発行日に合わせて QA・C 用
MISRA C 適合度モジュールをリリース

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区・社長：五味 勝）は、当社取扱い製品である英国 Programming Research 社製ソースコード^{※1}静的解析ツール“QA・C Version 8.1”が、本年3月18日に発行される新コーディング^{※2}ガイドライン「MISRA C:2012」をサポートすることを発表いたしました。

※1 プログラミング言語を用いて記述したコンピュータに作業をさせるための指示内容。

※2 ソースコードを記述すること。

MISRA C ガイドラインの共著者で、過去13年間にわたって MISRA C ワーキンググループの活動に従事し、Programming Research 社の代表を務めている Paul Burden 氏は次のように述べています。

「この MISRA C の新バージョンは、C 言語を有効かつ安全に使用するための新しいベンチマークを提供します。C99^{※3}のサポート、一連の改善、および個々のルールの背景にある論理的根拠の詳細な説明を備えた MISRA C:2012 は、ソフトウェアの品質に関心があり、C 言語を用いてシステムを開発しているすべての人向けの不可欠な資産です。」

MISRA C:2012 は、C90^{※4}用のガイドラインを保守する目的で策定された MISRA C:2004 の発行時には広く実装されていなかった C99 にも対応しています。またこの他にも、MISRA C:2004 にはなかったいくつかのルールの追加に加え、ガイドラインの理解しやすさと使いやすさを向上するための幅広い改善点が盛り込まれています。

- ルール解釈の一貫性を保証するために曖昧な部分を排除
- ルールを“必須”、“必要”、“推奨”のいずれかに分類
- ルールが保証できる検出可能範囲を“決定可能性”で明確化
- 不要かつ煩わしい制限を避けつつ、危険な構造に焦点を当てられるようにするために、ルールの定義を改善
- 個々のルールの背景にある論理的根拠のより広範囲な説明と例の増加
- ユーザが個々のルールから逸脱する（ルールに準拠しない）可能性がある理由の説明内容の改善

これらは、世界中の MISRA C:2004 ユーザから得られた幅広い経験に基づいています。

※3 C99: 1999年に発行されたC言語の規格書 ISO/IEC 9899:1999 (JIS X 3010:2003)

※4 C90: 1990年に発行されたC言語の規格書 ISO/IEC 9899:1990 (JIS X 3010:1993)

MISRA C は、C 言語を用いた開発において最も幅広く用いられているコーディングガイドラインです。元々は車載ソフトウェア向けに開発されましたが、今では多くの異なる業種でも採用されています。MISRA C:2012 ワーキンググループには、自動車だけでなく、航空宇宙、軍事、医療、プロセス制御といった幅広い分野の経験をもつメンバが所属しています。

Programming Research 社の CTO である Fergus Bolger 氏は次のように述べています。

「Karel de Grote University College の TERA-Labs による最近の研究で、QA・C が MISRA:2004 の適合度を評価するための最良の静的解析ツールであることが示されました。私達はこのリードを保ちつつ、より良い MISRA C:2012 用の適合度評価モジュールをリリースし続けます。」

QA・C Version 8.1 用の MISRA C:2012 適合度評価モジュールは、間もなく利用可能になります。より詳細な情報は次のウェブサイトでご確認下さい。

<http://www.programmingresearch.com/>

TERA-Labs による MISRA C コード解析ツールの調査結果の要約は、次のウェブサイトでご確認下さい。

<http://www.programmingresearch.com/resources/white-papers/>

[英国 Programming Research 社について]

PRQA は 1986 年に創立され、業界内で「コーディング規約の専門家」として認識されています。PRQA はコーディング規約検証ツールを初めて開発し、現在ではその専門技術を、業界随一のソフトウェア検証および規格準拠検証のテクノロジーを通して、世界中に普及させています。PRQA の事業所は英国、米国、インド、アイルランド、およびオランダにあり、その他世界中に流通ネットワークが構築されています。

PRQA の業界トップツールである QA・C、QA・C++および QA・Verify は、C と C++のコードを可能な限り厳密に検証します。これらの製品は、高品質な言語の解析と理解を提供する、強力かつ固有の構文解析エンジンを含みます。また、言語の用法が危険であるか、過度に複雑であるか、移植性がないか、保守が困難であるために生じる問題を特定します。さらに、コーディング規約への準拠に必要な基本ビルドブロックが含まれています。

英国 Programming Research 社に関する詳細は www.programmingresearch.com をご覧下さい。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカの詳細は、www.toyo.co.jp をご覧下さい。

英国 Programming Research 社製製品に関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション

Tel : 03-3279-0771 Fax : 03-3246-0645 E-mail : ss_sales@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社東陽テクニカ 経営企画室

Tel : 03-3279-0771 Fax : 03-3246-0645 E-mail : kikaku@toyo.co.jp

※ 本リリースに記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。